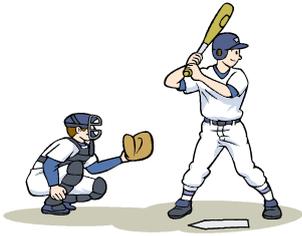


よしのっ子

富津市立吉野小学校
学校便り NO.11
令和6年2月2日発行
発行者 山口 和久



大谷翔平選手のグローブ寄贈にあたって

3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。始業式では、大谷翔平選手のグローブが届くことを想定し、次のようなことを話しました。(紙面の都合上、割愛したところがあります。)

大谷選手がこれまでどんな子ども時代を過ごし、どのように野球と向き合ってきたかを知らない人は案外多いと思います。そこで、野球に一生懸命取り組んでいた頃、実践していたことを紹介します。

大谷選手は、「目標達成シート」というものを活用していました。…(中略)…大谷選手は、「ドラフト1位・8球団(8チームからドラフト指名1位)」という大きな目標を真ん中に掲げ、1位に指名されるために必要な要素として、「体力づくり」「変化球」「コントロール」など野球に直接かかわりのあることやこれ以外に「運」を加えた8個を選び書き込んだそうです。

さらにこの「体力づくり」「変化球」「コントロール」や「運」などの8項目を自ら獲得するために日頃から自分が何に努力すればよいか、常に心がけ実践することをじっくり考えました。特に「運」を味方に引き寄せるため、大谷選手は、次の8個をこつこつ努力することに決めました。それらは、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「道具を大切に使う」「審判への態度」「プラス思考」「応援される人になる」「本を読む」です。

実力がすべてと言われるプロ野球の世界なのにそれに挑むには、日頃の模範的な振る舞いから引き寄せる「運」も大切であると、野球を通じてわかっていました。特に、「あいさつ」「審判への態度」「応援される人になる」は、野球をやるうえで必要不可欠なことだと、子どもながらに理解し身に付けてきました。…(中略)…

確かに、メジャーリーグの試合で、「あいさつ」「審判への態度」「応援される人になる」を、大谷翔平選手が率先して取り組んでいるところがテレビで放映されています。また、「球場のゴミ拾い」「道具を大事に使う」なども観客の心を癒す振る舞いとして紹介されています。一方で、破格の移籍契約金ばかりが話題になっていますが、多くのファンにとっては、そんなことよりも彼の人となりや模範的な振る舞い、紳士的な態度、野球に真摯に向き合う姿勢等に大いに感動しているにちがいありません。

グローブの寄贈にあたり、仲よく野球をすることも大切ですが、むしろ彼の陰ながらのたゆまぬ努力があったことや運を味方にしてまで目標を達成する固い決意、実践力などを理解するとともに、大谷翔平選手の言動から多くのことを学び、これからの自分自身の生き方に活かしてほしいと思っています。

君津地方小中学校書き初め展

書き初め展には、厳正な校内審査を行い選ばれた学年2名の作品が提出されました。その結果、優秀賞1名と入選が決定しました。どの作品も一生懸命練習した成果が現れた佳いできばえとなっていました。

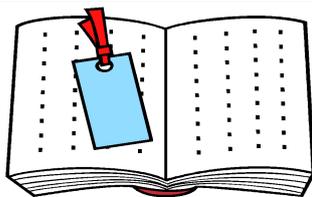




今月の予定



1日(木) 絵本の森(5、6年) さくら号来校 放課後学習教室	15日(木) 絵本の森(3、4年) 読書の日 放課後学習教室
2日(金) 絵本の森(3年) 放課後学習教室	16日(金) 全校一斉計算チャレンジ SC来校 放課後学習教室
3日(土) 吾妻神社節分祭	20日(火) 集金日(5、6年)
5日(月) 読書の日 委員会活動 教育相談週間(～9日)	21日(水) 学力検査① 放課後学習教室 特別日課 下校14:00
6日(火) 全校一斉視写チャレンジ	22日(木) 学力検査② 放課後学習教室 特別日課 下校14:00
7日(水) SC来校 放課後学習教室	さくら号来校
8日(木) 絵本の森(1、2年) さくら号来校 放課後学習教室	23日(金) 天皇誕生日
9日(金) 放課後学習教室	25日(日) 読書の日
11日(日) 建国記念の日	27日(火) 全校一斉視写チャレンジ
12日(月) 振替休業	28日(水) 放課後学習教室
14日(水) 放課後学習教室	29日(木) 絵本の森(5、6年) 放課後学習教室



あらためて、5のつく日は「読書の日」です。

現在「読書の日」は、月に3日、1回の目標タイムを最低16分と定め、全校で取り組んでいるところです。この内容ならば読書が嫌いな人でも無理なく継続して取り組むことは可能ではないかと考えますが、読書アンケートを集計してみると、読書をしない子どもの割合が、8、5%に達しています。あらためて、5のつく日は「読書の日」ですので、自ら意欲的に読書を行い、心の栄養や豊かな知識を獲得するため、本と向き合う努力を怠らないようお願いいたします。子どもたちには、あらためて家庭における読書の目安である月に3日、1回の目標タイムを最低16分の必要性を再認識していただき、生活の一部としての読書にするよう早急に改善を求めたいと思います。ご家庭においても、いつも5のつく日は「読書の日」であると子どもたちに周知していただくとともに読書活動がどうして推進されているのかを正しく理解させ、僅かな時間であっても主体的な取り組みにできる子どもの育成となるようご協力をよろしくお願い申し上げます。

子育てで悩んでいたら、ご利用を

学校においても、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、外部機関の方々のお力をお借りして、子どもたちの悩みを直接聞いていただいたり、我が子の気になることについて保護者が相談したりしています。また、我々教職員も子どもたちとのかかわり方やその指導について、相談にのっていただいています。その結果、子どもたちは、適切なアドバイスをいただくとともに、温かな声かけ、見守り活動を行っていただき、充実した学校生活を送れるようになったケースもあり、大変助かっています。

先日、「市役所子育て支援課」や「望みの門ピーターパンの家」の方々が来校され、ご家庭で気になるお子さんがいて、悩んでいる保護者の方々がいらっしゃれば、相談に応じたいとお話がありました。詳細につきましては、別紙を配付させていただきますのでご覧になって、関心のある方はご利用してみたいはいかがでしょうか。